

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結び —

校長室だより No.19

“やさしく かしく たくましく”
～ 本気と礼節の教育 ～

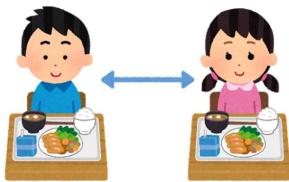
令和4年2月17日 文責:安生昌弘

◆ 全校臨時休業措置について

先週の感染拡大防止のための全校臨時休業措置に関しましては、ご協力ありがとうございました。お陰様をもちまして、本日現在、子どもたちの中で感染の爆発的な拡大は見られず、ひとまずはホッとしているところ
です。今後も学童保育やスポーツクラブ等と連携を図って、
感染拡大の防止に努めていきたいと思ひます。



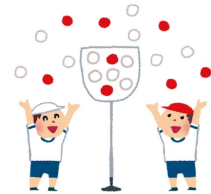
14日の学校再開以降、子どもたちは感染拡大を自ら防ごうとする意識が高まったように感じます。不織布マスク(紙状のマスク)をきちんとつけていたり、給食を黙って食べる
姿が休業前より徹底できるようになって
きました。ご家庭で話していただけたのだろうと思ひます。あ
りがとうございます。臨時休業措置に至る経過の中で学んだこ
とを今後の感染予防に活かしていきたいと思ひます。



◆ コロナ禍で学んだことを活かす教育活動

今、先生達は各教科のまとめの授業を進めながら、来年度の教育活動の計画を作っています。今までのコロナ禍は不幸なことですが、実は学校にとっては、それぞれの教育活動の意義を問い直す契機となりました。「この教育活動は本当に必要なのだろうか」「この教育活動のあり方は本当にこれで良いのだろうか」と考え直すことが出来ました。そういう意味では、終息の見えないコロナ禍の最中
ですが、来年の船小教育を考えるとワクワクする思ひです。

一例を挙げると、運動会は秋(10月22日・土)に計画しています。今年度と同様に学年入替制で行います。これにより4月や5月は、子どもたちの教科学習や学校生活をしっかりと軌道に乗せること
に力を入れる時期とします。また、学習発表会は廃止して、コンサートや鑑賞教
室を行行情操教育を行います。本校の学習発表会は教育効果を上げることが難しいものでありましたので、子どもたちの発表活動は、各学級の授業の中で実施していくこととなります。



学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願ひ、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。

